

せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>

会員生協トピックス

三井造船生協

玉野市と包括連携協定を締結

三井造船生協は、玉野市と子育て支援や地域の見守り活動などに協力して取り組む包括連携協定を締結しました。7月7日（木）玉野市役所にて調印式が行われ、柴田義朗玉野市長と三井造船生協福井直和理事長が協定書に署名しました。

この協定は、玉野市と三井造船生協が相互の連携を強化し、玉野市内における地域の一層の活性化と市民サービスの向上に資することを目的としています。

活動の1つとして、生まれてきた赤ちゃんに『おめでとう。生まれてきてくれてありがとう。』の気持ちのメッセージを添えて、離乳食や紙おむつなどをプレゼントする活動を本年度中に始める予定です。

三井造船生協は、これまで以上に玉野市と連携し、玉野市民の利便性向上に取り組んでまいります。



協定書を持つ柴田市長と福井理事長（左）



【9項目の連携事項】

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| (1) 少子化対策・子育て支援 | (6) 地産地消の推進及び玉野市産品の販路拡大 |
| (2) 買い物支援 | (7) 健康増進・食育 |
| (3) 地域の安心・安全見守り | (8) 環境対策・リサイクル |
| (4) 高齢者及び障害者支援 | (9) その他地域住民のサービスの向上及び地域社会の活性化 |
| (5) 災害時の応急生活物資供給支援 | |

津山医療生協

津山の名所で「きんちゃい体操」やってみた！

津山医療生協では、この度、オリジナル体操「きんちゃい体操」をリニューアルしました。

一昨年YouTubeチャンネルを始めるにあたって最初にアップしたのが、オリジナル体操「きんちゃい体操」です。体操はそのまま、各支部の組合員さんが、この体操に使っているオリジナル曲「津山の風」に登場する場所を含む津山の名所で、動画の撮影を行いました。新しい「きんちゃい体操」の動画は、春から作成してきました。

津山医療生協のYouTubeチャンネルにアップされていますので、是非ご覧ください。



おかやまコープ

岡山大学生協と「食」を中心に協働

おかやまコープは、大学生協と食を中心に協働することで「協同組合間連携」の前進を目指しています。その一環として、3月30日には岡山大学の新入生ら3500名にコープ商品を中心とした「食の応援セット」を贈呈しました。

また、6月12日には岡山大学生協の「食堂レシピコンテスト企画2022」の開催にあたり、食材を提供し、組合員の知恵をレシピに盛り込むため学生とオンラインで交流しました。コンテストは、大学生の食生活を豊かにし、新入生にも食堂の魅力を伝えるために開催。学生から募集した「麺」をテーマにしたレシピの中で、上位メニューは大学生協の食堂で提供されました。



レシピを試作し、
学生とオンラインで交流する組合員理事ら



学生に「食の応援セット」を渡す
おかやまコープ組合員

「平和の学習会」・「平和のひろば」開催

おかやまコープは「核兵器も戦争もない平和な未来を子どもたちに手渡そう」とさまざまな活動をすすめており、「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」に取り組んでいます。

5月13日には「平和の学習会」を開催し、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の会長兼国際運営委員で、NGOピースボート共同代表の川崎哲（かわさき あきら）さんより『核兵器をなくすために、私たちにできること』をテーマに講演をしていただきました。

また、7月23日には「平和のひろば 2022」を開催。山陽学園中学校・高等学校JRC部による語り部や原爆体験を元にした紙芝居、沢知恵（さわ ともえ）さんによるピースコンサートが行われました。



核兵器廃絶を訴える
川崎さんの講演



平和のメッセージがこもった
沢さんの弾き語りコンサート

倉敷医療生協

矢掛町で3年ぶりの平和行進

小田郡矢掛町では、7月22日に国民平和行進が医療生協の組合員も参加して3年ぶりに行われました。

コロナ禍での行進のため、マイクでアナウンスする人以外は、大きな声を出さない工夫として、手作りのうちわやマラカスなどの音が出るものを用意して沿道にアピールしました。

宿場町の古い町並みが整備されて観光客が散策する中を、「核兵器廃絶」「恒久平和」「今起きている侵略戦争の即時停止」などを訴えながら矢掛町役場まで行進しました。



矢掛本陣前での呼びかけ

岡山大学生協

オープンキャンパスの対応について

岡山大学のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり2年連続で対面ではなくオンラインで開催されていましたが、今年は「来学方式」「オンデマンド方式」「ライブ配信方式」によるハイブリッド方式での開催となりました。

岡山大学生協でもそれに合わせ、対面方式の「大学生活準備相談コーナー」と、オンライン方式の「Web版お部屋探し相談会」の2種類のイベントを開催しました。実際に岡山大学に足を運ばれた方々やご自宅からオンラインで参加された方々に対し、岡山大学の学生生活や一人暮らしの住まい事情を少しでもイメージして頂けるように様々なアドバイスをする事ができました。



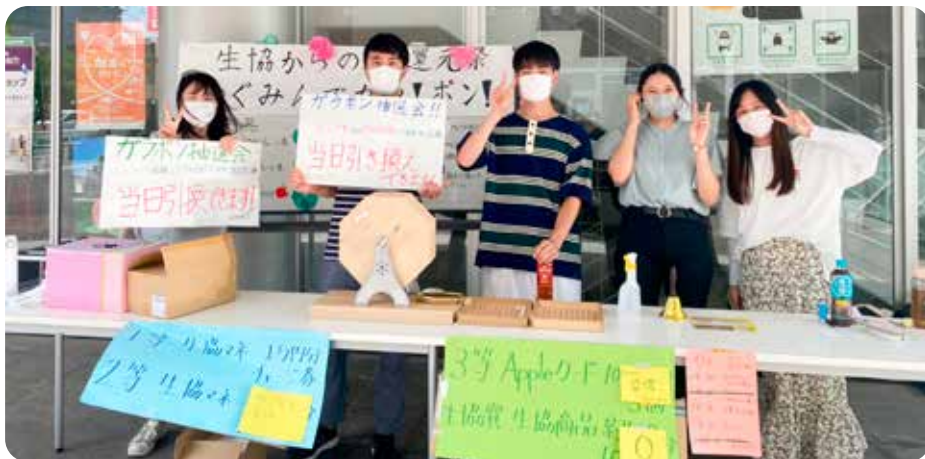
就実生協

3年ぶりの開催！ ガラポン企画

7月11日～15日、seedS（就実生協学生部）主催でガラポン企画を実施しました。この企画は、生協店舗買い物時のレシートと引き換えに抽選会に参加できるというものです。

1週間で約400名の方が参加。豪華賞品が当たった鐘の音が鳴り響く中、参加者同士が笑顔で交流したりする場面も多くみられました。

1年生にとっては初めての企画、また、上級生メンバーにとっても対面で行う初めての企画でした。この経験を糧に後期の取り組み、および23年新入生を迎える取り組みに進んでいきたいと思います。



岡山医療生協

施設の空き時間を利用して健康づくり企画を実施

今年度から、デイサービス福浜やコムコム会館2階のトレーニングルームを利用して、健康づくり企画を始めました。施設の運動機器を活用し、理学療法士の指導のもと運動しました。各エリアの組合員の方が、運動し話し楽しい時間を過ごしました。コムコム会館ではおかやまコープの方に来ていただき、休憩室でおかやまコープ商品の紹介をしました。良い汗をかき、笑顔があふれました。当日はワンコイン増資もお願いしました。今後も、エリアや支部の企画として組織拡大にチャレンジしていきます。



グリーンコープ生協おかやま

親子で参加できる「産直びん牛乳学習会」を開催しました

「子どもたちに安心して飲ませられる本物の牛乳が欲しい」という組合員の想いから生まれた『産直びん牛乳』は、グリーンコープの食べものの運動の象徴のような存在。他の牛乳と何が違うの？？調理や実験を交えながら楽しみながら学びたい！そんな想いで倉敷地域の組合員が企画しました。ホエーでつくるパンケーキ、ノンホモ牛乳だからこそできるモッツアレラチーズ。「カルシウム有効性テスト(レンネットテスト)」では、胃の中で牛乳がどのような状態になるのか、牛乳によって違うことを目の前で見ることができました。味はもちろん目に見えない中身を知ることの大切さを実感する学習会となりました☆



フードドライブの取り組みを行いました

組合員宅で使い切れない食品やマスクなどの日用品を「ありがとう」に変える取り組み。今年も2回開催する予定で、第1回目を7月に実施しました。集まった品は福祉委員会に集う組合員が仕分けを行い、グリーンコープが受託する岡山市家計改善事業窓口や、つながりのある地域福祉に取り組む団体を通じて必要な方にお届けしています。次回は12月に実施する予定です☆



こくみん共済coop岡山推進本部（岡山県労済生協）

“ぼうさい”の取り組み

7月16日（土）にArio倉敷でSDGsイベントが開催されました。

このイベントでは「キッズぼうさい迷路」「ガラスの散乱体験」「負傷者搬送体験」を実施しました。実際に体験をしていただきながら防災・減災に大切なことを学んでいただきました。

7月6日（水）倉敷市立菅生小学校で「ぼうさいPiPit!ダンス」の実践授業が行われました。

今回の実践授業は、小学1年生を対象に岡山大学ダンス部の指導のもと行われました。生徒たちはダンスの振り付けを覚えながら、防災・減災に役立つ動きを楽しく身に付けることができました。

Ario倉敷 SDGsイベント



キッズぼうさい迷路



ガラスの散乱体験

菅生小学校 防災ダンス実践



輪になってダンスを踊っている様子



岡山大学ダンス部によるダンス指導

こくみん共済coop杯ママさんバレーボール大会



こくみん共済coop主催で行われた今大会では17チームが参加をし、3つのクラスに分かれて試合が行われました。本大会会長のこくみん共済coop二宮本部長より開会式の挨拶で選手の皆さんへ応援の言葉が贈られました。

試合が始まると、どのクラスでも白熱した試合が繰り広げられ、選手の皆さんは暑さに負けず声を掛け合いながら優勝を目指してプレーをしていました。計14試合が行われ、各クラスで優勝・準優勝のチームが表彰されました。

今大会に参加された選手・役員の方に向けてVRで災害体験ができるブースを設けました。多くの方に体験をしていただくことができ、「貴重な体験ができた」との声をいただくことができました！

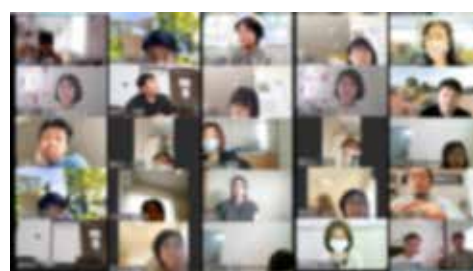


VRで災害体験

岡山県学校生協

「おうちで育休カフェ2022」に参加

「顔の見える関係づくり」に向けた広報活動の取組みとして、岡山県教職員組合主催の「おうちで育休カフェ2022」に参加しました。この取組みは、育休中の教職員を対象に、育児や保活、学校現場への復職のための情報提供を行うもので、2010年度から続いています。さらに今年度は、育児・介護休業法の改正によって男性の育休取得を促進する動きが進んでいることから、男性の仕事と育児の両立支援についても情報提供を行いました。学校生協からは、生協の仕組みや組合員のメリットについて紹介をしました。



2022年度事業計画などの全議案を可決しました

第63回通常総会が、6月28日、オルガホールにて、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、3年ぶりに実出席で開催されました。代議員総数47名中47名（実出席26名、書面出席21名）が出席、全11会員が出席し、2021年度事業報告・決算、2022年度事業計画・予算などの3議案全てが賛成多数で可決されました。



開会にあたり、平田昌三会長理事は、西日本豪雨等の予期せぬ災害に備えたいこと、コロナ禍の事業活動に触れて助け合いの組織として生協の価値を実感したことについて述べました。また、ウクライナ侵攻や物価高による暮らしへの影響がある中で、平和とよりよい暮らしのために、学び合い、つながりを大切にする生協であり続けましょう、と呼びかけました。来賓として、岡山県県民生活部暮らし安全安心課 塩飽成史課長にお越しいただき、伊原木隆太知事の祝辞をご披露いただきました。

上甲啓一専務理事による議案提案の後、議案討論では5名の代議員からコロナ禍の事業継続や活動を維持するための取り組み、SDGsにつながる環境やエシカル消費等の取り組みについて発言がありました。

組合員と取り組んだ新型コロナウイルス感染症への対応

岡山医療生協 田中 裕子さん

岡山医療生協が今年創立70年を迎えること、コロナ対応では医療活動に加え、発熱外来、2,000人超の入院受け入れ、県全体の約1%を占めるワクチン接種、陽性患者の療養支援、クラスターが起こった病院への応援派遣などに組合員と力をあわせて取り組んだこと、行政懇談で「夜中でも患者さんを受け入れてくださって本当に助かっている」と感謝されたことなどが報告されました。



ほのぼの岡大1年生！

岡山大学生協 津村 和希さん

学生委員会C.C.C！から、コロナ禍で新入生の不安解消と友達づくり・交流を実現した取り組みについて、約1,000人が参加、50人超の学生委員を迎えられたことが報告されました。また、おかやまコープと連携した食の応援セットの配布や食堂メニューコンテストの報告があり、協同しながら組合員のより良い大学生活のために活動していきたいとの発言がありました。



無人販売BOX（プチコープ）の取り組みについて

三井造船生協 重田 圭介さん

職場内にお菓子BOXを設置するサービス「プチコープ」は、2019年にスタート、現在は33カ所、供給高前年比155%に増えていること、取り組みを始めたきっかけ等が報告されました。職場の要望によって徐々に設置個所や品ぞろえが増え、BOXを囲み従業員同士のコミュニケーションの場にもなっていること、生協とのつながりもアップしているとの発言がありました。



2027 カーボンニュートラル実現に向けて

グリーンコープ生協おかやま 飯村 美智子さん

グリーンコープの事業・活動において、5年後の2027年にカーボンニュートラル実現に向けてすすめていること、具体的な計画について報告されました。車両のEV化やドライアイス削減、グリーンコープでんき、森林経営、4R推進などに取り組み、組合員の願いを実現するために、環境を守る運動と行動を、さらに一歩大きく踏み出したいとの発言がありました。



身近でできるSDGs エシカルキャンペーン

おかやまコープ 岡城 祐子さん

コロナ禍で、集まらなくても参加できる取り組み「エシカルキャンペーン」には15,000人が参加し、一人ひとりがエシカル消費につながる行動ができたことなどの報告がありました。また、商品学習、産地・工場見学、コープ委員会活動へのオンライン活用を通じて、生活スタイルの変化に応じた新しい参加のかたちとして取り組んでいきたいとの発言がありました。



議案の 採決結果

- 第1号議案 2021年度事業報告書および決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2022年度事業計画および予算決定の件
- 第3号議案 役員補充選任の件

賛成多数で可決
賛成多数で可決
賛成多数で可決

総会終了後、日本生協連中四国地連 傘木誠事務局長より、2030年ビジョンに関連して「2030年に向けた組合員参加のあり方に関する提言」「全国コープ福祉事業連帯機構の設立」について報告があり、会員生協の学びを提起しました。



気軽にできる健康づくり ひとりでも健康チャレンジ！

「ヘルスチャレンジ2022」に参加しませんか？

日々のくらしで、何か健康に注意しながら過ごしていますか？

食事や運動、早寝早起き、歯磨きなど、ちょっとした生活の中の習慣は健康づくりにつながります。

- 5つからがんばりたいコースを選んで、30日間チャレンジ！
- チャレンジしたら、結果を報告♪ (11月30日まで)

「報告はがき」または インターネットで。



フレイル予防に、生活習慣病予防に、運動不足解消・体力向上に、お子さんと一緒に、ご家族みなで、お友達やグループで、職場の仲間と、「ヘルスチャレンジ2022」に参加しませんか？

- ① 気軽に運動コース
- ② 健康的な食生活コース
- ③ 健康はお口からコース
- ④ 私の健康コース
- ⑤ キッズコース



詳細はパンフレットをご覧ください。

こちらからも➡



結果報告者の中から抽選で500名に

「トレーニングチューブ5本セット」プレゼント!!



3医療生協へ、CO・OP彩果菜園を贈呈！



県の感染者数は1日あたり 3,000人を超え、発熱外来は問い合わせが殺到しパンク状態、救急搬送困難事例も増加しています。岡山県生協連は、コロナ禍で医療・介護現場で日々がんばっている岡山医療生協、倉敷医療生協、津山医療生協のみなさん2,516人に10,200本の「CO・OP 彩果菜園」を贈りました。

8月17日、県生協連 大同久人常務理事が岡山医療生協を訪れ、直接ジュースを渡し喜ばれました。「こういう状況になると、職員は『私たちの苦勞を分かってもらえない』という気持ちになるので、一人じゃない、応援してくださる生協の仲間がいるんだということが何より励みになります。」(岡山医療生協 和田専務理事)

「第35回岡山県消費者大会」のご案内

知って
おきたい!

最新の消費者トラブルと インターネットの落とし穴

～かしこい消費者になるために～

最新の消費者トラブルを知り、被害にあわないためのポイントをいっしょに学びましょう。

日 時 10月10日(月・祝)
13:30～15:30(終了予定)
会 場 オルガホール(オンライン参加可)
記念講演 「知っておきたい!」
最新の消費者トラブルと
インターネットの落とし穴」
申込締切 9月30日(金)
主 催 岡山県消費者団体連絡協議会



【講師】
一般社団法人 ECネットワーク
理事 原田 由里 さん

- くわしくは、所属団体・生協におたずねください。
- 会場参加、オンライン参加、どちらの場合もお申込みください。

こちらから➡

